

2022年(令和4年)6月10日 金曜日

インターナショナル・ワイン・チャレンジ

渡辺酒造店が金賞

飛騨市古川町にある老舗蔵元の渡辺酒造店が100年余にわたって造る日本酒「小町桜」が、世界最大規模の酒の品評会とされる「インターナショナル・ワイン・チャレンジ(IWC)」の普通酒の部で金賞に選ばれた。

(一川哲志)

普通酒の部で「小町桜」栄誉

100年余にわたって飲まれ、IWCで金賞を受けた小町桜＝飛騨市古川町、渡辺酒造店

小町桜は飛騨産の酒造好適米「ひだほまれ」を使い、同社の井戸水で仕込んだ普通酒。創業から152年に



なる同社の銘酒の一つで、長く飲み続けられている。IWCの日本酒部門は9部があり、普通酒の部には73銘柄が出品され、小町桜を含む2銘柄が金賞となった。また、小町桜は金賞2銘柄の中でもト

ップとなる「トロフィー」を受けた。さらに、小町桜は日本での小売価格が千円以下で720ミリリットルの瓶の酒を10万本以上生産する銘柄から選ばれる「グレートバリュースケ」にもなった。

同社の渡辺隆事務は「多くの方に長く飲まれる酒が選ばれたことで、飛騨の食文化の良さが認めてもらえた。賞を受ける酒に育ててくださった地元の方々に感謝している」と話した。